

見守りサポート事業 記入例

(第7条関係)

No.0001

補助事業実績報告書

令和〇年4月1日

明石市長 様

住 所 明石市中崎1丁目5番1号

名 称 明石高年クラブ

氏 名 明 石 太 郎

《 記入方法 》

- ア
- ・高年クラブ会長の住所、氏名を記入してください。
 - ・複数の高年クラブで活動した場合、「共同高年クラブ構成表」に記入した代表高年クラブ会長の住所、氏名を記入してください。

補助事業が完了しましたので、明石市高年クラブ活動等社会活動促進事業補助金交付要綱第7条の規定により、その実績を次のとおり報告します。

1 補助事業名	見 守 り サ ポ ー ト 事 業
2 完了年月日	令和〇年3月31日
3 交 付 金 額	金 2 4 , 0 0 0 円
4 事業等の成果	別 紙 の と お り
5 見守り実人数 (延べ人数)	12 人 (延べ 129 人)
6 添 付 資 料	・(別紙)見守りサポート事業実施報告書 ・令和〇年度 収入支出決算書

イ「見守り実人数」は年間で一番多かった月の人数(10人以上)を記入してください。

例 月ごとの見守り対象者数が

4月～5月10人、6月～12月11人、1月12人、2月11人、3月9人だった場合、
1年間で最も見守り対象者が多かった月の実人数は1月の12人が最も多いので、
見守り実人数欄に 12人と記入してください。

ここから下は、記入しないでください。

令和〇年度高年クラブ助成事業精算書

支出額	左の内補助金 対象額	補助基準額	補助所要額	備 考
A	B	C	D	
		24,000		
円	円	円	円	

【ご注意ください！】

※提出書類への記入は、ペンまたはボールペンで記入し、文字が消せるフリクションペン等は使用しないでください。

※訂正する場合は、2本線で消し、正しく記載してください。

※ホワイト修正液・砂消しゴム等は使用しないでください。
(印刷されている文字は訂正しないでください。)

見守りサポート事業 記入例

令和〇年度 収入支出決算書

(収入)

その他の収入として
その他の補助金
一般会計からの繰入
寄付金
預金利子
雑入など

科 目	金 額 (円)	備 考
会 費 等 自 己 負 担	0	
市 補 助 金	24,000	見守りサポート事業補助金として (活動月数×2,000 円)
そ の 他 収 入	8,000	寄付金
前 年 度 繰 越 金	0	
合 計 ①	32,000	

見守りサポート事業の決算額のみ記入してください。

※高年クラブ助成事業、高年クラブ活動強化推進事業の決算額は
記入しないでください。

※複数の高年クラブで実施する場合、合算した決算額を記入して
ください。

(支出)

その他の支出として
一般会計への繰出
雑費など

科 目	金 額 (円)	備 考
補助対象経費 見守りサポート 事業	30,000	報償費・消耗品費・備品購入費 印刷費・通信費・使用料 食糧費・交通費 その他()
補助対象外経費 そ の 他 支 出	2,000	雑費
合 計 ②	32,000	

該当する項目に○印を記入して下さい。

【ご注意ください！】

補助対象経費が補助額に満たない場合、補助金を返還
していただく必要があります。

○見守りサポート事業の補助上限額 24,000 円
(活動月数×2,000 円)

(繰越金)

科 目	金 額 (円)	備 考
翌 年 度 繰 越 金	0	合計①－②

繰越金には、収入合計①から支出合計②を差し引いた
金額を記入してください

見守りサポート事業 記入例

見守りサポート事業実施報告書

クラブ名:

☐ 共同実施あり

☒ ア 訪問 または ☒ イ 目視

提出日: 令和〇年4月1日

複数の単位クラブで共同実施した場合は□に✓を記入してください。

対象者は個人情報ที่ไม่分らないように記入してください。

見守りの方法がア・イが混ざっていても構いません。

対象者数の10名は年間の最大実人数でカウントします。

年度途中で見守りを始めた場合や、見守りできない月があった場合などは、備考欄に理由を簡単に記入してください。

1年間で見守りした人数の延べ合計人数を記入してください。

その月に見守りを行った人数を記入してください。

1年間に地域総合支援センターへ情報提供した件数を記入してください。

地域総合支援センターへ情報提供した件数

1 件